

# 櫛

けやき

小牧幼稚園 園だより 第361号 2020年11月  
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」  
年主題「こころが満たされる」  
年聖句「喜びと平和とであなたがたを満たす」ローマ 15 : 13

子どもにとって窮屈な、コロナ過の中、クリスマスを楽しむをもって迎える準備が各クラスで始まっています。例年、お借りしている小牧勤労センターが改装工事のため12月が使えなくなり、その影響もあったのか、他の施設も、予約で一杯だったり、空いていても、密にならないよう定員の半分以下で使用してください、とのことで、会場探しに苦労しました。それなら、園内で、クラス単位で行うと相談し、ご家庭にはお伝えしたところ、運動会当日、保護者の方から、「来年から雨天の時、また極暑の中での運動会は私が運営しているフットサルのグラウンドを使ってください、家内が、今年度で娘が卒園し、幼稚園と縁が無くなるのが寂しいと言っています。ぜひ、お使いください」とのお申し出があり、それならクリスマス会に使えませんか？とお願いをしたところ、寒いけど、それでよいなら、お使いください、と言っただき、会場が決まりました。例えば、イエス様の誕生も「身ごもっていた、いいなずけのマリヤと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリヤは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。」(ルカによる福音書) 人口調査のため帰郷する人が一杯なため、ヨセフもマリヤも泊まる場所がなくイエス様がお生まれになったのは、馬小屋でした。天使に囲まれ、3人の博士・羊飼いに見守られ、牛やヤギの体温に暖まれ、きっとそこは幸せな空間だったと思います。



クリスマス会の劇は、子どもたちが普段行っている遊びや、大好きな絵本の中から、一場面を切り取り、見てもらうこととなります。どんな場面かは、当日のお楽しみですが、そのうち家庭でも、子どもが、歌を歌ったり、踊ったり、と予行演習をお見せすると思います。子どもが場面々を自由に発想表現するうちに、当日を迎えることとなりますので、当日まで劇が完成しないかもしれません。但し、みどり組が中心に行う「聖劇(聖誕劇)」は聖書の話に基づいて行われますので、自由に物語を作ることはできません。そのため、みどり組は、決まったセリフを覚え、決まった動きをしなければなりません。役の配役から、セリフの長短まで、子どもにできることをと、夏休み中から、先生たちの課題として取り組んでいます。また、練習の中から、子どもに無理がないよう変更などしていきます。そのため、午前午後で、少しですが違いも出てきます。

クリスマスを待つ時を、キリスト教の暦では、「降誕節」と言います。12月4日から24日までになります。ラテン語でAdvent's(アドベント)と言われ、各保育室には降誕節に入ると、アドベントカレンダーを飾り、毎日クリスマスま

でを楽しみ待ちます。最近、街の雑貨屋さんでもよく見かけるようになったカレンダーがこれです。園の各クラスに飾られるアドベントカレンダーは、日付のついたポケットがあり、小さなお人形が、毎日隣へ移って、クリスマスが来るのを楽しみに待ちます。また、アドベントクラウンもあります。4本のろうそくを立てたもので、クリスマスリースに4本のろうそくを用意し、第一主日礼拝（11月29日の日曜礼拝）に1本目のろうそくに火を灯し、週ごとに一本ずつ灯していきます。幼稚園では、第4のろうそくを12月18日クリスマス会の日に灯します。今、一般の家庭でも玄関にリースを飾られています、このアドベントクラウンがクリスマスリースの原型と云われます。

私が子どもの頃は、クリスマス言えば、クリスマスケーキだけが楽しみでしたが、今は町中が、年末になるとクリスマスムードになります。嬉しく楽しくなる半面、クリスチャンである私は正直なところ複雑な気持ちになります。

クリスマスは小牧幼稚園で一番大切にしている行事です。子どもたちとともに、クリスマスを楽しみ待ちたいと思います。コロナ過のクリスマス。サンタさんもみんなに会えること楽しみにしていると思います。

#### 12月給食メニュー

12月	1日(火)	クロワッサン	サモサ	果物
	3日(木)	クリームシチュー	ご飯	果物
	4日(金)	けんちん丼		果物
	8日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
	10日(木)	中華ごもく御飯		果物
	11日(金)	カレーうどん		果物
	15日(火)	クロワッサン	鶏のから揚げ	果物
	22日(火)	クロワッサン	ソーセージ	シュトレン 果物

☆この数年、ケーキ屋さんで、クリスマスが近づくと販売される「シュトレン」を見られたり、買われたりすることがあります。ドイツではクリスマスが近づくと、主日（日曜日・安息日）ごとにシュトレンを薄く切り食べ、お祝いし、クリスマスを楽しみに待ちます。この形は、砂糖で覆われて、外見は幼子イエスが白い布で包まれたことに由来すると言われます。22日の給食で頂きたいと予定しています。アレルギーのある人にも、おいしいシュトレンを用意します。

☆2階の職員室前の廊下に絵本が並んでいますので、自由にお持ち帰りください。職員室側には、現在の季節のコーナーになっています。今はクリスマスが中心で冬の絵本が並んでいます。みどり組になりますと、子どもが絵本バックをもってきて、自分で選んで持って帰ります。まだ持って帰らないみどり組のお母さんは、バックを持たせ「借りてらっしゃい」と進めてみてください。